

ISS・きぼうウィークリーニュース

平成15年2月18日発行 第40号 宇宙ステーション・きぼう広報・情報センター

“スペースシャトル「コロンビア号」の事故について”

☆スペースシャトル「コロンビア号」事故について

既にニュースでご存知の通り、去る2月1日、スペースシャトル「コロンビア号」(STS-107)が16日間のミッションを終えて、地球への帰還途中、空中分解し、7名の宇宙飛行士は全員亡くなりました。この場を借りて哀悼の意を表します。

NASAでは既に「コロンビア号事故調査委員会」を組織し、事故原因の調査を行っています。

事故調査の状況など、コロンビア号の情報については下記をご覧ください。

http://jem.tksc.nasda.go.jp/shuttle/sts_accident/index.html

<http://spaceflight.nasa.gov/shuttle/>



STS-107の7名の宇宙飛行士

“今週の国際宇宙ステーション(ISS)”

最初のISS構成要素打上げから1551日経過しました
第6次長期滞在クルーのISS滞在は84日経過しました

ISS動向

コロンビア号の事故後の2月4日(米国時間)、プログレス補給船がISSとドッキングし、第6次クルーは輸送された物資をISS内へ運び込み始めました。また2月11日と12日には地上とISSを結んだ記者会見が行われました。その中でISSコマンドーのパウアーソックス宇宙飛行士はコロンビア号の乗組員への追悼とともに「今は前進するときであり、我々は少しずつそうしている」と話しました。



会見を行う第6次クルー

“今週のSTS-114/野口宇宙飛行士が参加するISS組立てミッション”

STS-114クルー訓練再開

コロンビア号の事故後中断されていたSTS-114の訓練は段階的に再開されています。またコロンビア号の事故に関する、野口宇宙飛行士をはじめとする日本人宇宙飛行士からのコメントを発表いたしました。

なおSTS-114を含め、今後のスペースシャトルの打上げ時期については「見直し中」となっています。

日本人宇宙飛行士からのコメントは下記URLをご覧ください。
http://www.nasda.go.jp/topics/2003/topics0202-02_j.html



STS-114のNASA
ミッションマーク

※STS-107「コロンビア号」の事故により、発行が中断しましたことをお詫びいたします。

問い合わせ先: 宇宙開発事業団 宇宙ステーション・きぼう広報・情報センター TEL: 029-868-3074

ISS・きぼうホームページ <http://jem.tksc.nasda.go.jp> Eメール kibokoho@nasda.go.jp

※「ISS・きぼうウィークリーニュース」に掲載された記事を転載する場合、本ウィークリーニュースから転載した旨を記述ください。